



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信 2021-2022



ガバナーメッセージ



国際ロータリー第2720地区 2021-2022年度ガバナー

大森 克磨

OMORI KATSUMA

西天草ロータリークラブの永野義孝さん

ガバナー公式訪問について

ガバナー公式訪問は、10月25日現在で40クラブを訪問させて頂いております。

どちらのクラブも過分な歓迎をして頂き、心より感謝申し上げます。

お話を伺いますと、いずれのクラブにおきましても、ここ数年、新型コロナウイルスの感染拡大で親睦の機会が激減したこと、奉仕活動ができないことをこぼされておりました。

しかし、公式訪問におきましては、徐々に感染拡大が収束してきたおかげで懇親会も開催でき、より親睦が深まる訪問が出来ております。

写真は、西天草ロータリークラブの永野義孝さんです。1986年～1987年「超我の奉仕賞」を受賞されたそうです。

超我の奉仕賞はロータリーで最高の栄誉ある賞であり、2720地区において受賞された方は、亡くなられた本田光曠バスターガバナー以外には存じ上げませんでした。

そうしたところ、公式訪問の10月19日に、同クラブの川田哲也会長とお話している際に、偶然受賞を知りました。

そこで、川田会長にお願いして、翌日永野さんと面談させて頂き、また、初めて超我の奉仕賞の認証状を見ることも出来ました。

受賞理由は、2億4000万円あまりの医療機器を外国に寄贈し、現地の医療の向上に多大な



貢献をしたことによるそうです。

永野さんは、同クラブのチャーターメンバーで、ロータリー歴47年目です。

是非、西天草ロータリークラブの50周年記念式典でお会いしたいものです。

皆さん、すばらしい先輩を見習いましょう。

クラブ現況報告書兼活動計画書 (以下、「活動計画書」といいます。)について

ガバナー公式訪問に際しましては、必ず事前に活動計画書を読ませて頂き、臨んでおります。

活動計画書は、現況報告や1年間の活動計画だけではなく、クラブの歴史そのものともいべきものであります。

1年に一度の活動計画書の作成は、会員の皆様のご自身のクラブを振り返って点検し、見直す絶好の機会ということが出来ます。

また、活動計画書は新入会員に対するクラブの説明書であるという側面もあります。

そのため、会員名簿は写真付きが良いのではないかと思います。

新入会員が既存会員の名前を覚えることは重要なことですが、私の経験では、本人を目の前に面談している最中に名札を見るのは憚られます。

そこで、写真付きの名簿があると、これを見ながら会員の顔と名前を覚えることが出来ます。

作成は大変手間がかかり、費用も増加するかも知れませんが、写真付きの名簿は、新入会員と既存会員との親睦を早める役割を果たすのではないかと思います。

ちなみに、先ほどの西天草ロータリークラブの活動計画書には、カラーの会員の写真が掲載されておりました。

ロータリーコーディネーターとRLI本部から

末尾に、「コーディネーターNEWS」とRLI本部からのニュースレターを掲載しておりますのでご覧下さい。

前者には、ロータリーのブランディングや、ロータリーが日経新聞に広告を掲載したこと、全世界の会員数が119万人台に回復したこと等が掲載されております。

また、後者にはRLI本部の概要等が掲載されております。ロータリーのトレーニングはRLIの手法で行われていると、いって過言ではありません。皆様、RLIでもっともっと知りましょう。

ブランドを育てる(ブランディング)

■ブランディングの意義

企業においてその名と活動の意義を広く社会に認知し理解してもらうことは、経営戦略いわゆるマーケティング戦略においてとても重要なことです。同様に奉仕と親睦を標榜し、職業人による世界的ネットワークを構築してきたロータリーにおいても、世界中の地域社会に好ましい変化をもたらす行動人として、その活動を認知してもらうことは公共イメージ向上にとって大変重要なことです。その本質は、**ロータリーの存在意義(意味)とその活動の「魅力」を伝えていく**ことです。

そのためには「ロータリーのブランド」を育てていく必要があります。そもそも「ブランド」とは、焼き印のことで、特定生産者による商品を他のものと識別する手段として使われてきたものです。ブランドはロゴマークやその意味するものを企業と顧客との接点(タッチポイント)を通して、顧客に評価され、顧客の脳裏に蓄積されていく価値のことで、したがって「ブランディング」は、顧客の頭の中にブランドを構築し、価値を高めて確固たる評価を得ていくことです。つまりブランドを育てていくことです。「ロータリーのブランディング」においても、ロータリアン及び、クラブと地域住民や各種団体などのタッチポイントを通して、ロータリーの魅力を広く社会に認知され評価されていくことが求められます。

■インナーブランディングとアウトターブランディング

クラブや会員が各種の奉仕活動を通じて、地域住民や各種団体とのタッチポイントによる一貫性のある訴求行動をとっていくことが、ロータリーブランドの「らしさ」(価値)をつくるカギとなります。ロゴマークの入ったTシャツでの町の清掃や祭り、各種イベントでの協力、こういったその場その時のタッチポイントが公共イメージ浸透のカギとなります。ロータリー活動に関わるすべてのロータリアンが、何をなすべきか課題を明確に抱いて目標に向かって行動することが必要です。これを成功に導くためには、まず会員へ行動を促すためのロータリー研修、ことに公共イメージ向上のためのブランディング研修が欠かせません。この会員向けに行うブランドの意識づけが「**インナーブランディング**」です。

一方「**アウトターブランディング**」と呼ぶテレビや新聞、ネット記事などの外向けの宣伝広告あるいは展示会やイベントがあります。宣伝広告は広域にわたり広報されますが、かなりのコストがかかります。コストのかからない方法として、新聞や雑誌等のメディアに「記事」として取り上げてもらう「パブリシティ」がありますので、意義ある奉仕活動を記事に載せてもらうことも重要です。

■日経新聞に掲載

去る10月22日(金)の日経新聞にロータリーの記事が掲載されました。「地球の課題 今、解決へ若い力を」を大見出しに、辰野克彦RI理事がインタビューに答える形で、ロータリーとは、ロータリーの特色とは、世界での奉仕活動についてなど、思いを込め力強く述べられています。またロータリーの「とんがり」ともいべき「ポリオ根絶」のメッセージ、日本独自の「米山記念奨学会」の紹介や、日本ロータリー黎明期のクラブも紹介されており、アウトターブランディングにとっても有効であると感じました。皆さんの地区や地元地域において、この日経新聞のようなマスメディアのメッセージを活用していただき、ロータリー活動を活発に行われることを期待いたします。

ブランディングの意義をご理解され、「インナーブランディング」と「アウトターブランディング」がうまく調和して一貫してロータリー活動が実施されれば、ロータリーと社会がつながり、クラブの活性化とロータリーの公共イメージ向上に大いに役立つものと信じます。

第2地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 高良 明(川崎西RC)

Contents

- ガバナーメッセージ01
- コーディネーターNEWS02~03
- RLI本部からのニュースレター04~09
- 今月の予定と公式訪問10
- 表彰と入退会者のお知らせ11
- 出席報告12

RIテーマ..... 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

地区スローガン... 「ロータリーのパワーは親睦が生みだす! あらゆる場面を親睦の機会に」~話しかけよう~

地区ビジョン..... 「若者と親しみ、ロータリーを繋ごう。」



Rotary Region 1 & 2 & 3
コーディネーター NEWS 2021年11月号 No.2
 発行：Region 1 & 2 & 3
 ロータリーコーディネーター
 ロータリー公共イメージコーディネーター

会員数9万人復活を！

昨年年初からあつという間にパンデミックを引き起こした新型コロナウイルス感染症ですが、わが国ではワクチン接種の進展に伴い、何とか収束の気配がしてきました。

全世界に衝撃をもたらしたこの新型コロナウイルスに、我らがロータリーも多大な影響を受け、その活動の停滞だけでなく、結果的にクラブ数や会員数にも大きな打撃を受けました。一昨年7月から見ると、日本でも34地区のうちクラブ数が増えたのは2730地区(鹿児島・宮崎)の1地区だけで、実に22地区でクラブの終結・減少がみられ、全地区で会員数が減少し、現在8.5万人と低迷しています(いずれも7月末対比)。ただ、その中で世界のロータリー会員数は、130万人を目指すシェカール・メータRI会長の「Each One, Bring One」の檄によって、今年6月に116万人台まで落ち込んでいたものが、10月には119万人にまで回復しています。

その会員増に貢献しているものに、2013年度から導入された「衛星クラブ」があります。「衛星クラブ」はわが国でも昨年度から各地区で具体的な取り組みが始まり、昨年度で9クラブ、今年度は7月に2クラブが誕生しています。そしてこの動きは「衛星クラブ」の理解度が徐々に高まってきたということだと思います。これからが楽しみです。是非、これからのロータリアンの登竜門としての「衛星クラブ」設立を検討してみてください。

さて、ロータリーの基本は“サービス”ですが、このロータリーサービスは行動があつて初めて具現化されます。新型コロナ禍では、クラブ例会が休会に追い込まれたり、オンラインでの開催になるなど、クラブサービス活動にも制約を受け、更に目指す社会奉仕活動においても制限を強いられるようなものにせざるを得ない状況でした。でもそれも緊急事態宣言やまん延防止措置が解かれた今、私どもはその喜びを早速行動で表しましょう。そして各会員、各クラブ、そして各地区のロータリーサービスに勢いを感じられるものになれば、それがロータリーブランドの向上につながり、ひいては新会員の入会促進と会員の退会防止にもつながります。私共は会員一人一人の会員増強活動も大切ですが、各クラブ、各地区では、公共イメージ向上委員会と一体となって、ロータリーサービスの素晴らしさを社会の皆さん方に広めていき、クラブの門戸を叩く人を増やしていただければ、それは本当の基盤向上につながります。さあ、わが国でもあと8か月で、会員数9万人復活を実現しましょう！

第2地域 ロータリーコーディネーター補佐 神野 重行(名古屋名駅RC)



ロータロータリーリーダーシップ研究会

ロータリーリーダーシップは、世界中の地域支部で構成された会員地区による多地区合同で、草の根のリーダーシップ研修開発プログラムです。

2021年10月



委員長からのご挨拶

コロナ以来の最初の RLI 本部ニュースレターとなりました。この期間は、私たちの RLI プログラムにとってはチャレンジの期間となりました。私はこの間、各支部でのリーダーシップを向上させた実践方法に誇りを持っており、多くの支部ではオンラインでの RLI を実施しました。つまり、私たちは以前には、親しんだプログラムの双方向的な性格について本気で考えもしなかったことです。いくつかの地域では、直接対面式の RLI を安全に開催されたところもありました。すべての地域の皆様が、RLI を活発に実践し、ロータリアンのニーズに応じて戴きました。

私たちは RLI 本部を改革致しました。このことは、このニュースレターに記載されています。これにより、すべての支部の会員のために、より効果的な活動を提供できるようになりました。私たちは理事に就任し、本年9月8日にオンラインで年次会合を開催致しました。

世界中から 130 名の皆様が参加されました。ご出席されなかった方は、次回に是非、出席戴き、仲間の理事と学び、共有して戴きたいと願っています。

実行項目！

下記のことの実行してください。

- RLI 本部会費を未納の場合、本日、納入をお願いします。本部会費は、各地区 100 米ドルとなっています。請求書を紛失した場合、また質問がある場合は、Billing@rotaryleadershipinstitute.org まで、ご連絡ください。
- ヒューストン国際大会で、RLI 朝食会を開催致します。カレンダーに日程を記載ください。(詳細は、次回のニュースレターでお知らせします)

2022年6月7日
 Hyatt Downtown
 1200 Louisiana Street,
 Houston, Texas 77002

内容

- 2 ページ 諮問委員の紹介
- 3 ページ 理事
連絡情報
- 4~8 ページ 年次会合議事録

情報の提供をお願いします。

ニュースレターに、写真や記事の投稿をお願いします。

Newsletter@rotaryleadershipinstitute.org
 投稿には、名前、支部名、日付、写真に写っている人の名前を記載ください。

本部諮問委員会



本部委員長
Michael McGovern
米国



本部事務局長
Knut Johnsen
米国



本部副委員長
Leila Risteli
フィンランド



本部副委員長
Adriana de la Fuente
メキシコ



財務長
Paul Muczynski
米国



コミュニケーション
本部幹事
Margie Kersey
米国



本部研修委員長
Frank Wargo
米国



本部 IT アドバイザー
Greg Roche
米国



理事

Jacques di Costanzo - France	2023
Adriana de la Fuente - Mexico	2024
Tunji Funsho - Nigeria	2022
Kalcho Hinov - Bulgaria	2023
Jhinsup Jj Jhung - Korea	2024
Knut Johnsen - USA	2022
Margie Kersey - USA	2023
Binod Khaitan - India	2024
北 清治 - 日本	2022
Toni McAndrew - USA	2023
Michael McGovern - USA	2024
Tim Moore - Australia	2022
Paul Muczynski - USA	2023
Leila Risteli - Finland	2024
George Sundararaj - India	2022
Tim Schuler - USA	2023
Bryn Styles - Canada	2024
Juan Pedro Torroba - Argentina	2022
Frank Wargo - USA	2023
Nicolas Zalles - Bolivia	2024

すべての理事任期は 3 年とします。
名前の横に書かれた西暦は、現任期の終了を示しています。

次回のニュースレターの記事に注目してください！
理事メンバーとのインタビューをお届けします。

連絡情報

RLI ウェブサイト：
www.rotaryleadershipinstitute.org

カリキュラムファイル：
www.rlifiles.com

RLI ピンの注文は、下記までメールを：
OrderPins@rotaryleadershipinstitute.org

数量、名前、メールアドレスを記入下さい。

地区番号や RLI 役員名を含めて支部情報の更新は会までお願いします。

Corrections@rotaryleadershipinstitute.org

RLI 会費請求書についてのご質問は：
Billing@rotaryleadershipinstitute.org

ニュースレターへ記事や写真のご提供は：
Newsletter@rotaryleadershipinstitute.org

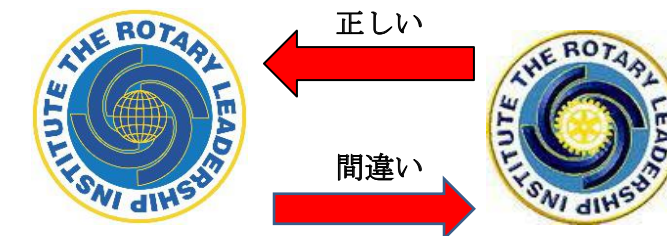
質問やお尋ねは：
Questions@rotaryleadershipinstitute.org

ロゴが更新されました！

正しいロゴを使用していますか？国際ロータリーの指針に従って、あなたの支部のロゴマークを確認してください。

正しいロゴマークはセンターに、ロータリーの歯車ではなく、地球が描かれています。

ロータリーのロゴを保護するために、ロータリーの公式プログラムのみが歯車のロゴを使用することが認められています。



年次会合議事録

2021 年 9 月 8 日 Zoom により開催。

出席理事： Mike McGovern, Jacques di Costanzo, Adriana de la Fuente, Tunji Funsho, Kalcho Hinov, Jhinsup JJ Jhung, Knut Johnsen, Margie Kersey, Binod Khaitan, Seiji Kita, Toni McAndrew, Tim Moore, Leila Risteli, George Sundararaj, Bryn Styles, Juan Pedro Torroba, Frank Wargo, Nicolas Zalles

欠席理事： Paul Muczynski, Tim Schuler

出席者： 133 名

選挙：

可決 役員として承認された候補者名簿。
Knut Johnsen 事務局長が提案し、Frank Wargo 氏が賛同した。

東部標準時 8 時 2 分に Mike McGovern 委員長により開会が宣言されました。

出席者への歓迎の挨拶。続いて、2020 年は新型コロナウイルスのために年次総会が開催されなかったことに言及後、マイク・マクガバン委員長は「デビッド・リネット RLI 特別功労賞」の授与を行いました。

2020 年：RLI 創設者で名誉会長のデビッド・リネット氏（米国）に授与
2021 年：中村靖治氏（日本）に授与

その後、Knut Johnsen 事務局長が、2020 年「Michael Rabasca RLI 優れた業績賞」の授与を行いました。

Tim Moore of Australia ティム・ムーア（オーストラリア）
Adriana de la Fuente of Mexico アドリアナ・デ・ラ・フエンテ（メキシコ）

理事で、表彰委員会委員長を務める Toni McAndrew 氏が、2021 年の「Michael Rabasca RLI 優れた業績賞」の授与を行いました。

CM Bendre（インド）
Bo Porter ボー・ポーター（米国）

Knut Johnsen 事務局長は、会計担当の Paul Muczynski（ポール・ムジンスキー）財務長がポーランドで休暇中のため、本会合に出席は叶わないが、2020 年の損益計算書と予算書を転送してくれたことを報告しました。Knut Johnsen 事務局長は両文書をスクリーンで共有し、これらの文書はウェブサイト(www.rotaryleadershipinstitute.org)で入手可能であることを指摘しました。損益計算書には、予算に対する余剰金が反映されています。これは、直接対面式の会議が行われなかったためです。また、200 以上の地区が今年度の会費を支払っていないことを指摘して、すべての支部を調査し、会費支払いを行うように奨励致しました。Knut Johnsen 氏は理事会報告を行い、歯車のロータリーのロゴの代わりに、ワイヤークロップの入った新しいロゴを使用するよう呼びかけました。また、近いうちに直接対面式のセッションを開催したいと述べました。

Margie Kersey 氏と Frank Wargo 氏より、カリキュラムに関する最新情報が提供されました。（カリキュラム担当の）チームメンバーに感謝の意を表した後、Margie Kersey 氏は、パート I、パート II、パート III はすべて更新され、現在、更新カリキュラムはウェブサイト（www.rlifiles.com）で公開されていると述べました。卒業コースはまだ更新されていません。また彼女は、翻訳ボランティアの協力を要請しました。

また、「標準」カリキュラムの他に、「フレーム」構成も用意されていることを紹介しました。各セッションはモジュールとして分かれており、各支部はモジュールを選んで、会員のニーズに応じた独自のカリキュラムを組み立てることができます。メンバーのニーズに合わせてカリキュラムを組むことができます。「標準」プログラムのように 6 つのセッションを使用することもできますし、セッションを追加することもできます。

マイク委員長は、(各支部が) 検討するために、細則がウェブサイトに掲載されていることを指摘し、Tim Schuler 氏率いる細則委員会の活動に感謝の意を表しました。

Nicholas Zalles 氏は、今後のウェブサイトに関する展望を報告し、ログインのセキュリティが向上したことを指摘しました。また、DACdb によって提供されている新しいウェブサイトが公開されました。彼が、ウェブサイトに関する Lou Okell 氏の功績を称えました。すべてのデータベースが修正されるよう、すべての変更やエラーに関しては、Paul Muczynski 氏と Margie Kersey 氏の両名に報告してください。

Adriana de la Fuente 氏は、RI ヒューストン国際大会にブースを出展することを報告しました。彼女は従来の(伝統的な)RLI 朝食会を開催できる会場近くのホテルの推薦を依頼しました。

続いて、Knut Johnsen 事務局長は、指名委員会からの報告を提示しました。役員の数、資格、任期、選挙について規定している第 5 条第 1 項を参照した上で、下記の候補者を提案しました。

RLI 本部委員長 Michael McGovern マイケル・マクガバン（2022 年まで）
第一副委員長 Adriana de la Fuente アドリアナ・デ・ラ・フエンテ（2023 年まで）
第二副委員長 Leila Ristelli レイラ・リステリ（2024 年まで）
幹事 Margie Kersey マージー・カージー（2023 年まで）
財務長 Paul Muczynski ポール・ムジンスキー（2022 年まで）
事務局長 Knut Johnsen クヌート・ジョンセン（2024 年まで）

Knut Johnsen 事務局長はフロアからの指名を求めました。候補者はいませんでした。Knut Johnsen 事務局長は役員名簿の受理を決議しました。Frank Wargo 氏がこれに賛成しました。動議は可決されました。

Frank Wargo 氏は、RLI のピン在庫があることを報告しました。旧ロゴ（中央にロータリー歯車）のピンは 1 個 50 セントです。新しいロゴ（中央に地球）のピンは 1 個 1.00 ドルです。ご注文は、ご希望の数量を明記の上、Frank Wargo 氏にメールをお送りください。

Margie Kersey 氏は、コミュニケーションに関する最新情報を提供し、Penny Byron 氏が家族の問題のために退任したことを伝え、交代の際して、彼女が行った支援に感謝しました。今年最初のニューズレターは 10 月初旬に発行されます。各支部には E メールでリンクが送られ、ニューズレターはウェブサイトに掲載されます。さらに、彼女は各支部委員長に顔写真をデータベース化して送付するよう要請しました。

Juan Pedro Torroba 氏は、RLI が現在直面している最も重要な問題は以下の通りであると考えていると報告しました。
1. 支部内における成功に導くためのチーム作り。2. 細則を採択し、地区内の全員が運営を理解すること。
3. 加盟地区内のクラブの増強と強化に焦点を当てること。そして 4. コースの構成に焦点を当てること。

また、Juan Pedro Torroba 氏は、「教える」のではなく「ファシリテーション」が重要であり、ロータリーアクト会員にも RLI への参加を奨励すべきであることを確認しました。

閉会に先立ち、何人かの出席者から特別なコメントがありました。

07

GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER

08

GOVERNOR'S
MONTHLY LETTER

Antonio Hallage 氏は、この会議と全員を参加させるために Zoom を使用したことを賞賛しました。

Adriana de la Fuente 氏 — 出席者に感謝の意を表し、南米・メキシコ支部の委員長の議長を特別表彰しました。

Knut Johnsen 氏 — 出席者と理事メンバーに感謝の意を表しました。今回の会議を企画した Margie Kersey 氏に感謝しました。

George Sundaraj 氏 — インド支部が RLI に注力し続けていることに感謝するとともに、より多くのディスカッションリーダーを必要としていることを指摘しました。

JJ Jhung 氏 — COVID19 が RLI に困難な状況を与えたが、それによって RLI がクラブと地区の成功のために RLI がさらに重要になったと述べました。

Michael McGovern 委員長は、参加者全員と理事会メンバーに感謝の意を表しました。

会議は米国東部時間の午前 9 時 30 分に終了しました。
議事録作成者：マージー・カーギー（幹事）

本議事録はおよび細則は、Web サイト (www.rotaryleadershiptinstitute.org) に掲載されています。

RLI 本部財務報告 2020-21 年度損益計算書

収 入	予 算	実 績	差 額
会費	\$27,500.00	\$25,115.90	-\$1,384.10
ピン	\$2,000.00	\$1,101.70	-\$898.30
年次朝食会	\$7,500.00	\$0.00	-\$7,500.00
収入合計	\$37,000.00	\$27,217.60	-\$9,782.40
支 出			
Paypal Service Charge	\$500.00	\$439.60	-\$60.40
PCN Serive Chrge	\$250.00	\$223.00	-\$27.00
ピン	\$5,410.76	\$8,410.76	\$3,000.00
旅費	\$6,000.00	\$0.00	-\$6,000.00
宿泊・食事	\$2,500.00	\$0.00	-\$2,500.00
事務費用	\$250.00	\$199.39	-\$50.61
年次朝食会	\$7,500.00	\$0.00	-\$7,500.00
印刷費・旧 Web サイト	\$0.00	\$825.00	\$825.00
DACdb および新 Web サイト	\$1,208.00	\$1,208.00	\$0.00
IRS990 準備	\$500.00	\$0.00	-\$500.00
支出合計	\$24,118.76	\$11,305.75	-\$12,813.01

今月の予定

◆11月 6日(土) IM(熊本第6G)

◆11月12日(金) IM(熊本第4G)

◆11月13日(土) 第1回会長幹事会
ローターアクト年次大会

◆11月20日(土) 職業奉仕部門セミナー

公式訪問予定

◆11月 2日 豊後高田

◆11月 5日 別府

◆11月 8日 阿蘇・肥後大津・肥後小国

◆11月 9日 大分中央

◆11月10日 中津

◆11月17日 大分城西

◆11月18日 熊本'05福祉・熊本りんどう・
熊本菊南・菊池

◆11月19日 宇佐八幡

◆11月25日 杵築

◆11月26日 熊本・熊本平成
水俣

◆11月30日 湯布院

//////////////////////////////////// 寄付金のご協力感謝いたします。////////////////////////////////////

メジャードナー(レベル2)



熊本江南RC
硯川 昭一 会員

ポール・ハリス・フェロー



人吉中央RC
宮原 正名 会員

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(2回目)



熊本江南RC
山田 元宏 会員

////////////////////////////////////

入退会者のお知らせ 2021年10月20日現在

入会者 新会員のご紹介をいたします

クラブ名	氏名	職業分類	推薦者
熊本城東	大塚 伸江	生命保険	永田 壮一
熊本江南	原田 佳英	写真館	硯川 昭一
熊本江南	新田 哲也	経営コンサルタント	岩永 一宏
熊本西	藤好 建史	医師	徳田 竜之介
八代南	大野 勇斗	不動産コンサルタント	淵上 恵子、野尻 雄介
八代南	稗田 裕子	鰻料理	淵上 恵子、野尻 雄介
水俣	松本 俊郎	リサイクル	栗崎 秀夫
水俣	田中照之進	飲食業	築地 広幸
人吉中央	田中 之博	鍼灸院	坂口 英雄
宇佐2001	有瀬 正昭	生花販売業	渡辺 幹雄、浜尾 仁
宇佐2001	高森 貴司	ファイナンシャルプランナー	渡辺 幹雄、浜尾 仁
大分	土屋 勝俊	政策金融	佐藤 信彦
大分臨海	志賀 栄一	電気事業	稲田 龍一
大分臨海	川原 邦彦	ゴルフコース	福本 祐二
大分臨海	葛城 正也	生命保険	葉真寺 朗彦
大分中央	平田 修治	飲食業	藤田 千克由
大分城西	園田 哲史	設備工事	衛藤 祐介

退会者

クラブ名	氏名	職業分類
熊本東南	松岡歩紗実	洋菓子製造販売
熊本江南	林田 昇三	老人デイサービス
人吉中央	堀内 幹	住職
中津	加藤 将貴	生命保険
中津	出利葉康博	食料品販売
中津	福澤 廣明	学習塾
別府	小野 公次	商業銀行
大分中央	石川 拓也	事務機器販売
大分中央	光浦 高史	建築設計

2021年9月 例会出席報告

グループ	クラブ名	例会数	ホームクラブ出席率(%)	ホーム通算出席率(%)	会員数				
					年初(7/1)	当月末	入会者本年度	退会者本年度	増減本年度
熊本第一	山鹿	0	0.00	46.43	14	14	0	0	0
	玉名	3	64.62	60.20	49	49	0	0	0
	荒尾	2	59.26	68.42	32	42	10	0	10
	玉名中央	2	78.57	72.09	15	14	0	1	-1
	(4RC)		64.44	63.55	110	119	10	1	9
熊本第二	阿蘇	0	0.00	76.40	35	35	1	1	0
	肥後大津	0	0.00	63.41	32	33	1	0	1
	菊池	3	71.93	74.07	19	22	4	1	3
	肥後小国	2	50.00	58.24	13	14	1	0	1
	熊本菊南	3	86.67	83.70	15	15	0	0	0
	熊本'05福祉	0	0.00	60.00	13	13	0	0	0
熊本第三	熊本りんどう	0	0.00	61.11	19	19	1	1	0
	(7RC)		72.66	70.19	146	151	8	3	5
	熊本	2	100.00	88.25	85	92	8	1	7
	熊本東	3	84.48	77.78	39	39	1	1	0
	熊本北	2	80.00	77.14	5	5	0	0	0
熊本第四	熊本東南	5	65.00	69.28	44	44	1	1	0
	熊本城東	3	75.27	75.48	31	31	0	0	0
	熊本グリーン	1	80.95	67.46	22	22	0	0	0
	熊本平成	2	56.52	60.87	23	23	0	0	0
	熊本水前寺公園	1	33.33	50.00	12	12	0	0	0
	(8RC)		78.77	76.57	261	268	10	3	7
熊本第五	熊本南	0	0.00	77.33	62	63	1	0	1
	熊本江南	0	0.00	75.16	54	56	2	0	2
	熊本西南	4	100.00	100.00	30	30	0	0	0
	熊本西	3	100.00	100.00	7	8	1	0	1
	熊本中央	1	100.00	100.00	27	27	0	0	0
熊本第六	熊本西陵	3	62.32	71.77	24	23	0	1	-1
	(6RC)		86.60	84.93	204	207	4	1	3
	八代	4	97.67	97.00	76	76	0	0	0
	八代北	1	73.68	69.47	21	21	0	0	0
	八代南	1	52.27	60.93	43	45	2	0	2
熊本第七	宇土	4	67.86	63.39	14	14	0	0	0
	八代東	2	60.00	63.41	43	43	0	0	0
	宇城	0	0.00	70.37	15	15	0	0	0
	(6RC)		83.37	82.29	212	214	2	0	2
	人吉	3	65.81	67.06	49	52	3	0	3
熊本第八	水俣	3	88.57	81.73	22	25	3	0	3
	多良木	2	96.88	91.67	19	19	1	1	0
	芦北	2	92.00	91.43	25	25	0	0	0
	人吉中央	4	72.73	69.55	32	33	3	2	1
	(5RC)		76.77	75.74	147	154	10	3	7
熊本第九	天草	0	0.00	79.55	45	47	2	0	2
	牛深	1	77.78	73.12	19	18	0	1	-1
	西天草	2	77.27	71.97	24	24	1	1	0
	天草中央	0	0.00	84.13	44	44	0	0	0
	天草パルライン	2	64.71	58.99	18	17	0	1	-1
(5RC)		72.92	72.84	150	150	3	3	0	
熊本41RC計		77.96	76.53	1,230	1,263	47	14	33	

グループ	クラブ名	例会数	ホームクラブ出席率(%)	ホーム通算出席率(%)	会員数				
					年初(7/1)	当月末	入会者本年度	退会者本年度	増減本年度
大分第一	中津	1	84.62	88.33	52	53	1	0	1
	日田	4	97.41	97.84	57	58	1	0	1
	中津中央	1	94.12	83.53	18	19	1	0	1
	日田中央	3	91.67	90.63	33	32	0	1	-1
	玖珠	0	0.00	73.33	15	15	0	0	0
	中津平成	1	80.95	75.00	22	22	0	0	0
大分第二	(6RC)		93.54	91.27	197	199	3	1	2
	豊後高田	2	98.44	98.51	40	40	0	0	0
	宇佐	0	0.00	81.72	31	31	0	0	0
	杵築	2	86.11	91.04	21	22	1	0	1
	杵築one heart衛星	0	0.00	81.25	8	8	0	0	0
	くにさき	2	73.33	67.78	15	15	0	0	0
大分第三	宇佐八幡	0	0.00	79.31	31	31	0	0	0
	宇佐2001	0	0.00	85.29	27	28	1	0	1
	(6RC+1衛星C)		89.23	86.69	173	175	2	0	2
	別府	0	0.00	83.53	37	38	1	0	1
	別府北	0	0.00	69.30	35	35	0	0	0
	別府東	0	0.00	64.18	44	44	0	0	0
大分第四	日出	3	92.31	81.02	15	14	0	1	-1
	別府中央	2	65.63	67.01	20	20	0	0	0
	湯布院	3	46.88	62.63	13	13	1	1	0
	(6RC)		69.90	71.88	164	164	2	2	0
	大分	1	86.96	79.06	48	49	3	2	1
	大分東	1	83.87	82.12	36	36	0	0	0
大分第五	大分臨海	0	0.00	82.78	37	40	3	0	3
	大分南	3	65.12	72.97	31	30	0	1	-1
	大分中央	1	54.55	58.90	80	79	0	1	-1
	大分1985	3	78.57	80.58	26	28	2	0	2
	大分城西	0	0.00	87.14	28	28	0	0	0
	大分キャピタル	0	0.00	87.99	54	57	3	0	3
大分第六	大分キャピタルOK衛星	1	100.00	100.00	0	11	11	0	11
	2720J.O.K.REC	3	77.16	80.00	54	55	1	0	1
	(9RC+1衛星C)		73.64	78.47	394	413	23	4	19
	竹田	0	0.00	91.18	15	15	0	0	0
	佐伯	1	67.86	67.14	29	29	0	0	0
	白杵	1	72.73	65.53	35	33	1	3	-2
大分第七	津久見	3	82.91	86.08	39	39	0	0	0
	豊後大野	2	73.08	71.79	13	13	0	0	0
	佐伯MARINE	0	0.00	69.60	24	25	1	0	1
	(6RC)		77.94	75.17	155	154	2	3	-1
	大分33RC+2衛星C計		81.66	81.26	1,083	1,105	32	10	22
	74RC+2衛星C総計		79.34	78.64	2,313	2,368	79	24	55

※衛星クラブがあるクラブの「会員数」は衛星クラブの会員数を除いた人数を表記しています。